

準備はお済みですか？

BCP未策定事業者への介護報酬減算措置が導入されます



Business
Continuity
Plan

MDS安否確認サービスでBCP対策を

「MDS安否確認サービス」は、宮銀デジタルソリューションズ（宮崎銀行グループ）が提供するクラウド型の安否確認サービスです。同サービスのご利用により、地震や災害、事故発生時に従業員の安否確認や被災状況を簡易かつ迅速に把握することが可能です。

2021年の介護報酬改定において、全ての介護事業者を対象に事業継続計画（BCP）の策定が義務づけられ、BCP未策定事業者への介護報酬減算措置が導入される見込みです。BCPを策定するうえで、安否状況確認体制の確立は、必要な介護サービスの提供を続けるためにも最重要課題となります。

今なら
初期費用
50,000円が
半額

主な機能

| | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 大規模地震時の自動通知 | 設問・回答のカスタマイズ | 位置情報取得 |
| 連絡網作成 | LINE通知（オプション） | SMS通知（オプション） |

MDS安否確認サービスの特徴

災害などの緊急時に従業員やその家族の安否確認を行い、情報を集約できるBCP対策ツールです。

日本国内で震度5弱以上の地震が発生した際、対象エリアの従業員に安否確認メールが自動で送信されます。従業員は、メールに記載のURLからサービスにログインし、事前に用意された設問に答えることで、安否状況を報告することができます。報告状況は自動で集計されるため、管理者は速やかに従業員の安否状況を把握できます。

また、標準機能として予約送信機能や設問・回答項目のカスタマイズ機能が備わっており、平時においてもさまざまな用途でご活用いただけます。



安否確認サービスでできること

利用例1. 従業員の体調管理

本システムでは、メールの予約送信が可能です。例えば、従業員に毎朝体調報告のメールを送信すれば、従業員はスマホから簡単な質問に答えるだけで、体調を報告することができます。



 従業員の日々の健康状態の把握に

利用例2. 緊急連絡網

企業内での緊急連絡網としてもご利用可能です。全従業員への通知はもちろん組織別・居住地別など通知対象を柔軟に設定できます。応答結果は自動で集計されるため、未確認者の把握も可能です。



 緊急時のBCP(事業継続計画)対策に

料金プラン

※金額は全て税別表記

ご利用には「初期費用」と「月額利用料」がかかります。

| 初期費用 |
|---------|
| 50,000円 |

※導入初月は「初期費用」のみのご負担となります。

| プラン | 従業員数 | 月額利用料 |
|-----|-------|---------|
| A | ~100名 | 6,000円 |
| B | ~200名 | 10,000円 |

+

| LINE・SMSオプション料金 | |
|-----------------|----------|
| | SMS送信上限数 |
| 1,000円 | 100通/月 |
| 1,600円 | 160通/月 |

※課金開始日から起算して1年間の最低利用期間がございます。

※SMS配信はプラン毎に月間の上限がございます。上限数を増やしたい場合は別途ご相談ください。

※201名以上の料金プランもご用意がございます。

お気軽にお問い合わせください！

